

# プライバシーの代償

## グローバルなプライバシー保護規制の状況

### 規制が重要となる理由

個人データの  
責任ある利用を奨励

ID盗難、金融詐欺  
やその他の犯罪行  
為のリスクを低減

個人と組織の間の  
信頼関係の構築

個人情報  
保護することで  
基本的人権を  
サポート



「企業や組織は、個人のプライバシーの保護と  
フィジカルセキュリティのいずれかを  
優先する必要はありません」

ピエール・ラーズ

Genetec代表取締役社長

### ご存知ですか？



顧客の **33%** はデータの取り扱いが原因で関係を解消しています。

出典元: Cisco



**120カ国** 以上が、自国民の個人情報を保護するために、国際的なデータ保護規制のいずれかを採用しています。

出典元: Thales



2023年までに、世界の **75%** で個人データはプライバシー保護法の対象となり、個人は自らの個人情報とその関連情報の開示を求める権利を持ちます。

出典元: Spion

**カナダ - PIPEDA**  
(個人情報保護および電子文書法)

**米国、カナダ - CCPA**  
(カリフォルニア州消費者プライバシー法)

**ブラジル - LGPD**  
(ブラジル一般データ保護法)



**ヨーロッパ - GDPR**  
(一般データ保護規則)

**インド - PDPB**  
(個人データ保護法案)

**シンガポール - PDPA**  
(個人データ保護法)

**オーストラリア - プライバシー法**

### プライバシー侵害が発生したときの損害

**罰金: € 110,000**

**2018年6月: アイルランド**

公的機関がCCTVカメラの使用に関して市と郡全体でGDPRおよびデータ保護規制に違反。

**2019年11月: オーストリア**

オーストリアのあるレストランは、警告なく公共エリアにおいてビデオ監視データを違法に収集し、ビデオ映像の保存時間制限である72時間を超過した。

**罰金: € 1,500**

**罰金: USD \$5,000,000 以上**

**2020年4月: 米国**

テキサス州のセキュリティサービス会社は、自社のアプリケーションを通じて顧客のホームセキュリティシステムを完全なコントロール化においていた。

**2021年1月: ドイツ**

あるドイツの中小企業は、職場、販売スペース、倉庫、共用スペースに無許可でカメラを設置して監視を行った。

**罰金: € 10.4 million**

トラストセンターにアクセスすると、企業や組織をより安全に保護しつつ、プライバシー保護を優先するための方法について知ることができます。

さらに詳しく

Genetec™